

蕪崎市立保育園民営化評価検証報告書
(概要版)

令和元年9月

蕪崎市立保育園民営化評価検証委員会

葦崎西保育園が民営化され1年が経過した段階で、その保育状況や運営状況、財政負担の軽減効果について検証した結果、すみれ葦崎保育園では、子どもの視点に立って、事業者の理念、特色を活かした工夫や改善が図られ、質の高い保育が実践されており、民営化により市全体の保育の質の向上や活性化をもたらしている。

また、保護者アンケートでは、民営化後の保育内容等について、約8割の保護者が満足・どちらかといえば満足している結果となっていること、市の財政負担の軽減効果をあげていることから、今回の民営化については目的を達成していると評価できる。

1 検証方法等

(1) アンケート及びヒアリング、現地調査等

平成30年8月24日に、学識経験者、財務会計有識者等5名からなる「葦崎市立保育園民営化評価検証委員会」を設置し、アンケート（保護者2回、すみれ保育園保育士2回、公立保育士1回）及びヒアリング（すみれ保育園職員、保護者、西保育園職員、地区長）、現地調査、すみれの財務状況調査を実施し、多角的に検証した。

(2) 市の財政負担の軽減効果

- ① 民営化後の決算に基づく市の財政負担軽減効果
- ② 施設整備に係る費用負担

2 検証結果

(1) 保育の質の向上

① 保育環境・子どもの様子

異年齢児保育によって、下級生に対する思いやりや、上級生に対する尊敬の心が育まれている。

また、保育園全体が子どもたち自身の思いを大切にし、自らの力を発揮できるような人的・物的環境づくりに努力しており、子どもたちが情緒的に落ち着いていた。

② 保育園施設管理

適切に管理され、建替えにより、施設管理については特に問題がない。

③ 保育園運営全般

法人の保育理念のもと、職員間で持てる力を発揮するような姿勢で保育に取り組んでおり、個々の職員の発想や自主性を積極的に取り入れている。

また、積極的に研修に参加し、一人ひとりが自己研鑽しており、保育の質の向上、保育者としての専門性を高めていることから、適切な水準と評価できる。

④ 保育内容

園児一人ひとりの育ちを大切に、子どもの好奇心や自発性を尊重した保育に良好な印象を受けた。

また、民間ならではの取り組みとして、絵本コーナーを設置し、読書の機会を設けるとともに、新たな保育行事として、親子遠足や魚の解体ショーなどの行事を取り入れ、保護者の理解も得られている。

⑤ 特色ある保育

異年齢児保育で、お互いから学び思い合う様子が伺え、情操心が育まれていた。

食育への取り組みでは、給食バイキングを導入し、食事の組み合わせを楽しく学び、マナーを身につけ、友達を思いやる心が養われていた。

また、魚の解体ショーや近隣畑での野菜作りなど苦手な食材への学習を進め、当日の給食展示やレシピの配布など、子どもと一緒に家庭における取り組みにも力を入れていた。

⑥ 地域との交流

行事ごとに地域との交流の機会を設け、新たな事業者として地域と非常に親密な関係が形成されてきていると評価できる。

⑦ 保護者との関係

行事の実施前や実施後のアンケート等を通じ、意見聴取が行われており、保育士の努力や懸命さが感じられる。

また、朝の受入体制や延長保育などを柔軟に対応し、保護者からも評価されている。

(2) 民営化の効果測定

① 民営化後の決算に基づく市の財政負担軽減効果

計画当初、葦崎西保育園が民営化を実施した場合における市の収入収支見込額の差額を軽減効果とした 20,253,424 円を軽減見込額とした。

民営化後の決算状況を見ると、市の負担は 14,909,771 円軽減された。

当初見込額との差 5,343,653 円は、地方交付税の減額幅が大きかったことと未満児の受入れ増に伴う運営費（委託料）の増加である。

【市の財政負担額】

(単位：円)

区分		すみれ葦崎保育園 (H30決算)	市 (H29決算)	対比	
収入	保育給付費	国	34,723,028	0	34,723,028
		県	15,996,085	0	15,996,085
	地方交付税	0	23,792,000	△ 23,792,000	
	収入合計	50,719,113	23,792,000	26,927,113	
支出	運営費（委託料）	101,316,500	89,299,158	12,017,342	
収 支		△ 50,597,387	△ 65,507,158	14,909,771	

② 施設整備に係る費用負担

現在建設中のすみれ葦崎保育園の建設金額は 240,500,000 円であるが、民設民営に対する国補助等により実負担額は、60,125,000 円に抑えられる。公立保育園として市が同じ建設金額で建設した場合と比較するとその差は 96,200,000 円でありコスト削減効果は明らかである。

③ すみれ葦崎保育園の財務状況（単年度収支）

収入は、保護者からの保育料及び国・県からの補助金、市の一般財源などが 110,808,223 円に対して、支出は、運営に係る人件費及び事業費の支出合計が 104,635,400 円で、収益は 6,172,823 円である。

④ すみれ葦崎保育園の職員の処遇改善

財務ヒアリングによると、公立保育園で雇用していた非常勤職員 20 名を正規職員として雇用し、公立と比較して 40 代以上で約 20%、その他で約 10%の賃金改善が図られ、職員の定着が守られ、健全な運営が図られている。

なお、検証委員会では、葦崎東保育園についても「葦崎市立保育園民営化計画（葦崎市立保育園再編整備計画）」に基づき、民営化することが望ましいとの結論に至り、時期については、築 40 年以上経過し、老朽化が著しく敷地も狭いことから、園児の安全を何より第一に考え、用地選定も含め、総合的に検討されるよう申し添える。